

市立病院経営再建プロジェクトチーム 第4回会議 議事録

- 【日時】 令和7年10月24日（金）10：30～12：00
- 【場所】 市立総合医療センター大会議室
- 【出席者】 尾形病院事業管理者（チーム長）、伊藤副市長、伊東総合政策部長、伊原財務部長、青砥健康医療部長、岡部総合医療センター病院長、山内病院事業管理局長、羽田病院政策課参事補
- 【議事】

議事1. 松戸市立総合医療センターの経営状況について

【確認した事項】

令和7年度の収支改善状況について報告

9月単月は、前年同期と比較して、1億5,600万円増加。4月から9月までの上期の累計は、前年度の上期と比較して、6億7千万円の医業収益の増となり、昨年末より病院一丸となって収入増加に取り組んだ結果、今年度は、診療報酬の改定がない中、半年で診療報酬改定のあった昨年1年間の増収額約3億円を2倍上回っている状況である。

今後、経費については、見直したいと考えているが、人件費の制度的な増加は、現状の病院の経営改善において足枷となっている状況で、公立病院の構造的な課題が露わになっている状況である。

【質疑応答・意見交換等】

特になし。

議事2. 作業部会からの報告について

- (1) 財政支援・人件費関係作業部会からの報告
 - ・ 配置人数の見直しについて
 - ・ 給料・手当の見直しについて
 - ・ 人事院勧告の適用について

【質疑応答・意見交換等】

非公開

- (2) 地域支援・広域連携作業部会からの報告

【確認した事項】

10月15日、病院政策課、政策推進課、健康医療政策課において第1回の部会

を開催した。

<目的>

県、近隣地域の医療関係者との協議調整を完了させる。

松戸市の地域医療・広域連携の観点で改定する経営計画との整合を検証する。

<協議内容>

1. 11月下旬までに千葉県への要望書提出を実施する。
2. 広域連携に関する他市・県との協議を行う。
 - ① 千葉県知事へ東葛北部保健医療圏を支える仕組みの構築部分について要望
 - ② 東葛北部保健医療圏の自治体の理解促進（特に小児医療）
 - ③ 市外の認知拡大・PR
3. 地域の医療機関からの意見聴取等
4. 松戸市医師会との意見交換等

【質疑応答・意見交換等】

質問：近隣市からも具体的な負担金額を示してもらわないと、来年、再来年から要望したのでは間に合わないのでは。小児周産期三次救急の収支差額が▲10億が赤字額か。

回答：入院は、市外で9億円マイナスとなっているが、診療科別稼働額の割合を按分したもので、収支差額は参考値となっている。今後、対外的に提示していくには精緻にする必要がある。

質問：他市へのアプローチはどのように行うのか。

回答：市同士でお金をもらうということになろうかと思う。健康医療部、総合政策部が作業部会を先導いただいていることは心強く、もう少し精緻な数字を持って市にアプローチしていくことになる。

10月22日付で、令和7年度医療提供体制推進事業に係る補助金の内示があった。周産期母子医療センター運営事業に関しては、54,078,000円で昨年度より若干増やしていただいた。小児救命救急センターの運営事業についても、91,700,000円で内示額を増やしていただいた。

議事3. 外部専門人材（外部コンサルタント）より【松戸市病院事業経営再建支援業務キックオフ】

【確認した事項】

- ・支援体制（メンバー・協力会社）について
- ・支援内容と概略スケジュールについて

- ・重要会議体への参加について
- ・院内ウォークスルーについて
- ・ヒアリング調査について

議事4. その他（公表事項の確認等）

【確認した事項】

人件費についての議論は非公開とする。

次回開催予定：11 月上旬

終了